

# 篠井地域データブック

平成 30 年 2 月

宇都宮市立図書館作成

# 目次

1 歴史	・・・	P1
2 町名	・・・	P5
3 自然	・・・	P6
4 主要施設		
(1) 行政機関	・・・	P8
(2) 教育施設	・・・	P12
(3) 医療機関	・・・	P13
(4) 社会福祉施設	・・・	P13
(5) 金融機関等	・・・	P15
(6) その他の施設	・・・	P15
5 民俗		
(1) まつり・行事	・・・	P16
(2) 民話	・・・	P17
6 文化財	・・・	P17
7 産業	・・・	P19
8 交通	・・・	P20
【参考】宇都宮市全体から見た雀宮地区の状況	・・・	P21

## 1 歴史

	できごと
縄文時代	(石那田町) 石那田館遺跡, (篠井町) 金山遺跡, 曲坂遺跡
古墳～ 奈良	(飯山町) 中居遺跡
奈良～ 平安	(飯山町) 溜山下遺跡 (篠井町) 内出遺跡, 中峰遺跡, 中坪遺跡, 加波山北遺跡 (下小池町) 林業センター内遺跡 (石那田町) 仲内遺跡, 桑原遺跡
中世	(石那田町) 石那田館 (飯山町) 寅巳城
元和元年 (1615)	日光街道が開かれる
文化8年 (1811)	龍光寺用水の開削
嘉永5年 (1852)	二宮尊徳の監督指導により工事を行い, 石那田堰を設ける
明治6年 (1873)	大字篠井に東海寺の寺子屋を井徳舎という名称で開校
11年	井徳舎, 下小池に移転新築 井徳舎と石那田分校を合併して教義舎と改称
18年	教義舎を下小池小学校と改称
20年	下小池小学校を下小池尋常小学校と改称
22年	市町村制施行。小林, 沢又, 喜多蔵, 杓掛, 塩野室, 矢野口, 篠井, 飯山, 石那田, 上小池, 下小池の11か村を合併して「篠井村」となる
25年	下小池尋常小学校移転新築し, 篠井尋常小学校南と改称
26年	高等科を併設して, 篠井尋常小学校南を篠井尋常高等小学南校と改称

27年	篠井村消防組，阿久津朝吉を組頭に発足
34年	石那田発電所建設
37年	中篠井・下小池地区で耕地整理事業実施（～明治41年）
43年	篠井尋常高等小学南校に農業補習学校が付置
45年	中篠井に駐在所が設置
大正9年 (1920)	有限責任篠井村南部信用購買販売組合（のちの宇都宮市農業協同組合篠井支所）の設立
昭和3年 (1928)	上篠井に篠井郵便取扱所が開設 篠井村消防組，歴代組頭以下組員の努力により，優良消防組として栃木県消防議会から旗冠を授与される
4年	篠井郵便取扱所を篠井郵便局と改定
16年	篠井尋常高等小学南校を篠井村立南国民学校と改称
21年	篠井村青年団が組織される
22年	キャサリン台風による被害 石那田や篠井で土砂崩れ，日光街道にかかる田川の大橋も流失，冠水30件 篠井村立南国民学校を篠井村立南小学校と改称 篠井村立南中学校設立 民生児童委員協議会設立
23年	篠井地区遺族会設立
24年	キティ台風による被害 立ち木の倒木，家屋の屋根が飛ばされる 今市地震による被害 石蔵崩壊10，一般住宅半壊20，屋根瓦が落下，墓石倒壊
26年	篠井村立南部公民館設置
28年	宇都宮市消防団篠井分団設立

29年	<p>宇都宮市に篠井村南部（石那田，上小池，下小池，喜多蔵の一部，篠井，飯山の一部）が合併</p> <p>篠井村役場を塩野室に移転して，今市市塩野室支所とした</p> <p>宇都宮市篠井支所を下小池に新築</p> <p>篠井村立南小学校を宇都宮市立篠井小学校と改称</p> <p>篠井村立南中学校を宇都宮市立篠井中学校と改称</p> <p>篠井村立南部公民館を宇都宮市立篠井公民館と改称</p> <p>宇都宮市篠井地区体育協会設立</p>
30年	篠井村の村有林を宇都宮市有林に切替え
31年	<p>宇都宮中央交通安全協会篠井支部設立</p> <p>宇都宮市国民健康保険篠井診療所完成，営業開始</p>
32年	<p>機構改革により支所が出張所となる。</p> <p>社会福祉法人宇都宮市篠井地区社会福祉協議会設立</p> <p>篠井地区雪割会〈若妻会〉設立</p>
36年	<p>宇都宮市道路愛護会篠井支部設立</p> <p>篠井地区防犯協力会設立</p>
38年	<p>下小池町に栃木県林業センター開所</p> <p>石那田発電所廃止</p> <p>篠井地区婦人徳重会設立</p>
41年	篠井地区連合自治会設立
42年	<p>駐在所を下小池町に移転</p> <p>篠井神祠 宇都宮市指定文化財に指定</p> <p>篠井地区松寿会連合会設立</p>
43年	篠井地区保健委員会設立
45年	<p>宇都宮市立篠井中学校閉校</p> <p>宇都宮市立篠井中学校と宇都宮市立富屋中学校が統合し，宇都宮市立晃陽中学校創立</p> <p>篠井保育園開設</p> <p>篠井地区河川愛護会設立</p>
46年	下野三楽園，桜4丁目から下小池町に移転新築
47年	<p>篠井地区消防後援会設立</p> <p>篠井地区婦人防火クラブ設立</p>

	篠井地区青少年育成会設立
54年	篠井地区自治公民館連絡協議会設立
55年	篠井地区むらづくり推進協議会設立
57年	県林業センターが第33回全国植樹祭のお手まき会場となり, 昭和天皇・皇后両陛下をお迎えした 篠井地区交通安全推進協議会設立
59年	篠井村役場跡に記念碑建立
60年	宇都宮市国民健康保険篠井診療所廃止
61年	下小池町の学道沿いの北側に戦没者慰霊塔を建設
平成3年 (1991)	篠井地区市民センター開設 (出張所と公民館の施設複合化)
5年	下小池駐在所連絡協議会設置
6年	下小池町駐在所, 現在地に移転 篠井地区青年団解散
8年	うつのみや平成記念子どものもり公園, 宇都宮市冒険活動センターの開設
9年	宇都宮市土地開発公社が篠井ニュータウン(下小池町)の分譲開始
14年	公民館を廃止し, 生涯学習センターに名称変更

※参考資料 『市政概要 平成29年度版』宇都宮市議会事務局 2017年  
『事務概要 平成29年度』宇都宮市教育委員会生涯学習課  
2017年  
『栃木県町村合併誌』第3巻上 栃木県 1956年  
『宇都宮市史 別巻』宇都宮市 1981年  
『宇都宮市議会史 年表編』宇都宮市議会 1996年  
『宇都宮市消防沿革史』宇都宮市消防本部 1999年  
『篠井ガイドブック』篠井ガイドブック編さん委員会 2002年  
「篠井ニュータウンホームページ」(平成29年11月26日現在)

## 2 町名

町名	由来等
<small>いいやままち</small> 飯山町	飯山郷は室町期から戦国期に見える郷名。 飯山村は江戸期から明治 22 年までの村名。 明治 4 年の廃藩置県による宇都宮県を経て、明治 6 年宇都宮県の廃止により栃木県に所属。 明治 22 年の町村制実施により篠井村の大字名となる。 昭和 29 年の宇都宮市との合併により現在の町名となる。
<small>いしなだまち</small> 石那田町	石那田郷は室町期に見える郷名。 石那田村は江戸期から明治 22 年までの村名。 明治 4 年の廃藩置県による宇都宮県を経て、明治 6 年宇都宮県の廃止により栃木県に所属。 明治 22 年の町村制実施により篠井村の大字名となる。 昭和 29 年の宇都宮市との合併により現在の町名となる。
<small>かみこいけまち</small> 上小池町	上小池村は江戸期から明治 22 年までの村名。 明治 4 年の廃藩置県による宇都宮県を経て、明治 6 年宇都宮県の廃止により栃木県に所属。 明治 22 年の町村制実施により篠井村の大字名となる。 昭和 29 年の宇都宮市との合併により現在の町名となる。
<small>しのいまち</small> 篠井町	篠井村は江戸期から明治 22 年までの村名。 明治 4 年の廃藩置県による宇都宮県を経て、明治 6 年宇都宮県の廃止により栃木県に所属。 明治 22 年の町村制実施により篠井村の大字名となる。 昭和 29 年の宇都宮市との合併により現在の町名となる。
<small>しもこいけまち</small> 下小池町	下小池村は江戸期から明治 22 年までの村名である。 明治 4 年の廃藩置県による宇都宮県を経て、明治 6 年宇都宮県の廃止により栃木県に所属、 明治 22 年の町村制実施により篠井村の大字名となる。 昭和 29 年の宇都宮市との合併により現在の町名となる。

※参考資料

『角川日本地名大事典 9 栃木』 角川書店 1984 年

『栃木県市町村誌』 栃木県町村会 1955 年

『栃木県の地名』 平凡社 1988 年

『宇都宮市六十周年誌』 宇都宮市役所 1960 年

### 3 自然

篠井地区には、本山・飯盛山・高館山・雷電山・寅巳山などの標高 300～500 m程の山々が連なっている。また、萬城路には湿地特有の植物も観察できる。その他の平地は水田や畑地になっている。

里山の環境がよく残っており、自然観察に適した地域である。特に山地のものと、平地のもの両方がみられるほか、水辺の生物も同時に観察できる。

本山・飯盛山・高館山などはハイキングコースも整備されており、これらの山すそを歩くだけでも多くの生物を観察できる。

#### (1) 位置

宇都宮市の北西部、栃木県のほぼ中央に位置し、輪郭は水掻きのついた水鳥の足跡のような形をしてやや北に向いている。地区の総面積は、26.577 平方キロメートル、東西約 5.5 キロメートル、南北約 70 キロメートルで、地区中心部付近の海拔は、234 メートルである。地区内の山地と平地の割合は、およそ 3 対 1 である。

#### (2) 地質

篠井地区の周りに連なる山々の地質は、大部分が深成岩（石英斑岩）と火山岩類（流紋岩・溶結凝灰岩を含む）で、飯山の山地地域は、火山岩類（安山岩や流紋岩）である。平地部の表土は、大半がローム層で覆われていて、その下部は砂礫層である。

#### (2) 河川

大きな河川として、逆川、寅巳川、辰巳川、赤堀川、田川の 5 本がある。それぞれの河川は、山地を開析して扇状地を発達させ、河岸段丘、台地、低地といった平地地形を形成している。

#### (3) 山

栃木百名山に指定されている本山（もとやま）は、篠井連峰（榛名山・男山・本山・飯盛山）の最高峰である。篠井連峰は、変化に富んだ登山コースが整備されており、体力に応じて楽しむことができる。

榛名山（524m）、男山（527m）、本山（562m）、飯盛山（501m）



#### (4) 鉱山

##### 富井鉱山

富井鉱山は、篠井にあった鉱山で、江戸時代から金の山地として知られていた。当時の旧坑がいくつか見られる。その後、明治の末に三井鉱山(株)が開発して以降、所有者や名称を変えながら断続的に操業されてきた。昭和30年に東邦亜鉛(株)が探鉱を再開した際には銅山として稼行し、昭和48年の閉山までに約8万7千トンの粗鉱を産出した。

地質は、第三紀の流紋岩を主として、周辺に緑色凝灰岩や凝灰角礫岩、砂岩が分布する。採掘の対象となったのは流紋岩中のものに限られた。

富井鉱山の鉱脈は、3回の鉱化作用によって生じたことが知られている。最も早期の鉱化作用では山の上部に金を含む石英脈を生じた。ここには輝蒼鉛鉱も同時に含まれ、金を見つけるてがかりとなる。次の鉱化では山の下部に重晶石を生じ、晩期の鉱化では中部から下部にかけて閃亜鉛鉱・黄銅鉱を含む石英脈を生じた。

#### (5) 銘木（市指定天然記念物）

※P18「6 文化財」の項も参照

- ・コウヤマキ《高野槇》（1960.1.28 市指定）

所在地＝篠井町 362

樹高＝30メートル

目通周囲＝3.6メートル

樹齢＝約300年

- ・エドヒガン（1967.3.25 市指定）

所在地＝石那田町 1942

樹高＝19メートル

目通周囲＝4メートル

枝張＝東西11メートル，南北11メートル

樹齢＝約550年

- ・下篠井のイヌシデ（1997.3.21 市指定）

所在地＝篠井町 1949-2

樹高＝15.5メートル

目通周囲＝2.66メートル

枝張＝東西16メートル，南北16.8メートル

樹齢＝約200年

- ・石那田のウメ（1989.3.22 市指定）

所在地＝石那田 1175

樹高＝6メートル

胸高周囲=3.4メートル  
枝張=東西 11.8メートル, 南北 8.3メートル  
樹齡=約 250年

※参考資料

- 『篠井ガイドブック ふるさとの歴史と風土』  
篠井ガイドブック編さん委員 2002年
- 『うつのみやの自然』 宇都宮市環境部環境課 2002年
- 『栃木百名山ガイドブック 改定新版』 下野新聞社 2012年
- 『こんなにあるよ！とちぎの鉱物 鉱山と鉱石のものがたり』  
栃木県立博物館 2014年

## 4 主要施設

### (1) 行政機関

#### ア 市の施設

##### ・篠井地区市民センター 所在地 下小池町 466-1

敷地面積 5,524.86 m<sup>2</sup>  
延床面積 1,367.09 m<sup>2</sup>  
建築構造 RC造2階建  
建設費 585,761千円  
駐車台数 65台  
供用開始 平成3年4月1日

#### 施設

##### 窓口サービス

戸籍や住民異動の届出, 各種証明書の発行  
印鑑登録, 埋火葬許可, 国民年金関係  
国民健康保険関係 保健と福祉の総合相談 等

##### 篠井生涯学習センター (旧篠井公民館)

ホール2, 学習室2, 和室2, 集会室, 調理実習室,  
工作実習室, 図書室

#### 沿革 昭和26年1月26日

篠井小学校構内に篠井村立南公民館設置

(篠井村大字下小池 569-37)

昭和 29 年 11 月 1 日

合併により宇都宮市立篠井公民館に改称

平成 3 年 4 月 1 日

現在の場所に篠井地区市民センター設置

(センター内に篠井公民館移転)

平成 14 年 4 月 1 日

篠井公民館から篠井生涯学習センターに改称

## ・宇都宮市冒険活動センター 所在地 篠井町 1885-1

子どものための自然体験学習施設

敷地面積 21.7ha (うつのみや平成記念子どものもり公園)

施設概要

〈宿泊施設〉

ロジ棟 3 棟 (宿泊定員 172 人)

493 m<sup>2</sup>×2 棟, 532 m<sup>2</sup>×1 棟

キャンプ場 (宿泊定員 150 人)

10 人用テント×15 張

附属施設 野外炊事場, 持ち込みテントサイト等

〈研修施設〉

ワーク棟 (工作室, レストラン) 2 階建 1,590 m<sup>2</sup>

体育館棟 (多目的アリーナ) 1 階建 779 m<sup>2</sup>

〈管理施設〉

管理棟 (会議室, 浴室, 事務室) 2 階建 1,782 m<sup>2</sup>

〈公園施設〉

つり橋, トンネル, 野外ステージ, 冒険広場,

あずまや, 駐車場 (約 100 台) 等

開 設 平成 8 年 7 月 5 日

※参考資料 『市政概要 平成 29 年度版』 宇都宮市議会事務局 2017 年  
『教育要覧 平成 29 年度』

宇都宮市教育委員会教育企画課 2017 年

『事務概要 平成 29 年度』

宇都宮市教育委員会生涯学習課 2017 年

『宇都宮市史 別巻』 宇都宮市 1981 年

『篠井ガイドブック ふるさとの歴史と風土』

篠井ガイドブック編さん委員会 2002 年

『栃木県公民館の歩み』 栃木県公民館連絡協議会 1987 年

## イ 警察

### 管轄警察署

・ 宇都宮中央警察署 所在地 下戸祭 1 丁目 1 番 6 号

### 管轄交番

・ 下小池町駐在所 所在地 下小池町 569 番地 10

※参考資料「栃木県警察ホームページ」（平成 29 年 11 月 17 日現在）

## ウ 消防

### 管轄消防署（常備消防）

・ 西消防署 平成 14 年 2 月 9 日開署

所在地 鶴田 2 丁目 21 番 7 号

#### 業 務

庶務，予防，警防，救急，救助各グループで構成

#### 車 両

消防ポンプ自動車，水そう付消防ポンプ自動車，

小型動力ポンプ付水そう車，屈折はしご付消防自動車，

化学消防ポンプ自動車，救助工作車，高規格救急自動車(2 台)，

資材輸送車，指揮車，査察車(2 台)，

津波・大規模風水害対策車，水陸両用バギー

・ 富屋分署 昭和 62 年 3 月 20 日開署

所在地 徳次郎町 742 番地 1

#### 業 務

水火災等の警戒防ぎよに関すること。

救急活動に関すること。

消防隊の編成に関すること。

消防対象物及び地水利の調査に関すること。

立入検査及び防火指導に関すること。

所管の機械器具その他営造物等の保守管理に関すること。

災害情報の収集に関すること。

#### 車 両

消防ポンプ自動車，水そう付消防ポンプ自動車，

高規格救急自動車

#### ・消防団 宇都宮市消防団篠井分団

1分団 5個部で構成，

団員 71名，小型動力ポンプ付積載車 5台

各部	車庫所在地	車 両
第1部	下小池町 569-158	小型動力ポンプ付積載車
第2部	篠井町 800	小型動力ポンプ付積載車
第3部	石那田町 792-11	小型動力ポンプ付積載車
第4部	上小池町 432	小型動力ポンプ付積載車
第5部	飯山町 1306-2	小型動力ポンプ付積載車

※参考資料 『消防年報 平成 29 年度版』 宇都宮市消防本部 2017 年  
「宇都宮市公式ウェブサイト」(2017 年 11 月 26 日現在)

#### カ 公園・緑地

	名 称	所在地	種 別	面 積	備 考
1	篠井ふれあい公園	下小池町	街区公園	4980 m <sup>2</sup>	
2	はるな公園	下小池町	街区公園	905 m <sup>2</sup>	
3	うつのみや平成記念 子どものもり公園	篠井町	総合公園	216722 m <sup>2</sup>	⇒ 3-(1)-ア

※参考資料 「宇都宮市の公園一覧 (平成 29 年 3 月 31 日現在)」

データ提供：宇都宮市公園管理課

## (2) 教育施設

### ア 小学校 ※学級数，児童数は平成 29 年 5 月 1 日現在

#### ・ 篠井小学校 所在地 下小池町 569-37

学級数：7 児童数：117

明治 6 年 井徳舎として東海寺に開校。

明治 11 年 井徳舎と石那田分校を合併して教義舎と改称。

明治 18 年 下小池小学校と改称。

明治 20 年 下小池尋常小学校と改称。

明治 25 年 篠井尋常小学校南と改称。

明治 26 年 篠井尋常高等小学南校と改称。

昭和 16 年 篠井村立南国民学校と改称。

昭和 22 年 篠井村立南小学校になる。

昭和 29 年 宇都宮市立篠井小学校と改称。

### イ 中学校 ※学級数，生徒数は平成 29 年 5 月 1 日現在

#### ・ 晃陽中学校 所在地 徳次郎町 1964

学級数：9 生徒数：193

昭和 45 年 篠井中・富屋中が統合し，宇都宮市立晃陽中学校となる。

### ウ 幼稚園

#### ・ 地域内に該当なし

※参考資料

『平成 29 年宇都宮地区幼稚園ガイドブック 幼稚園・認定こども園ガイド』  
(宇都宮地区幼稚園連合会／発行 ※平成 29 年 5 月 1 日現在の状況)

### エ その他の学校

#### ・ 地域内に該当なし

※参考資料 『教育要覧 平成 29 年度』 宇都宮市教育委員会 2017 年  
『風土の中の栃木県校歌集 上巻・小学校編』  
栃木県連合教育会 1987 年

『風土の中の栃木県校歌集 下巻・中・高・大編』

栃木県連合教育会 1987年

『目で見える富屋の歴史』 宇都宮市立富屋公民館 1997年

### (3) 医療機関

#### ア 病院

	名 称	所在地	診療科目
1	ひろたクリニック	石那田町 852-2	内科, 呼吸器内科, 消化器内科, 循環 器内科, 泌尿器科, 糖尿病内科,

※参考資料 『栃木県病院・診療所名簿 平成 29 年度』

栃木県保健福祉部医事厚生課 2017年

### (4) 社会福祉施設

#### ア 老人福祉施設・障がい者福祉施設

##### (7) 地域包括支援センター

	名 称	所在地
1	富屋・篠井地域包括支援センター	徳次郎町 65-8

※参考資料 『高齢者サービスのしおり 2017』

宇都宮市保健福祉部高齢福祉課 2017年

##### (イ) 障がい者福祉施設 短期入所

	名 称	所在地
1	しのいの郷	上小池町 1054-3

※参考資料 『事業所・施設等一覧 平成 28 年 5 月 1 日現在 ～障がい者サ  
ービスのしおり 2016 別冊～』

宇都宮市保健福祉部障がい福祉課 2016年

##### (ウ) 障がい者福祉施設 生活介護

	名 称	所在地
1	しのいの郷	上小池町 1054-3

※参考資料 『事業所・施設等一覧 平成 28 年 5 月 1 日現在 ～障がい者サービス  
のしおり 2016 別冊～』

宇都宮市保健福祉部障がい福祉課 2016 年

**(イ) 障がい者福祉施設 就労継続支援 (B型)**

	名 称	所在地
1	しのいの郷農園	上小池町 31

※参考資料 『事業所・施設等一覧 平成 28 年 5 月 1 日現在 ～障がい者サービス  
のしおり 2016 別冊～』

宇都宮市保健福祉部障がい福祉課 2016 年

**(オ) 障がい者福祉施設 施設入所支援**

	名 称	所在地
1	しのいの郷	上小池町 1054-3

※参考資料 『事業所・施設等一覧 平成 28 年 5 月 1 日現在 ～障がい者サービス  
のしおり 2016 別冊～』

宇都宮市保健福祉部障がい福祉課 2016 年

**(カ) 障がい者福祉施設 相談支援事業所**

	名 称	所在地
1	クライス	上小池町 1054-3

※参考資料 『事業所・施設等一覧 平成 28 年 5 月 1 日現在 ～障がい者サービス  
のしおり 2016 別冊～』

宇都宮市保健福祉部障がい福祉課 2016 年

**(キ) 障がい者福祉施設 日中一時支援事業**

	名 称	所在地
1	しのいの郷	上小池町 1054-3

※参考資料 『事業所・施設等一覧 平成 28 年 5 月 1 日現在 ～障がい者サービス  
のしおり 2016 別冊～』

宇都宮市保健福祉部障がい福祉課 2016 年



## イ 保育施設

### (7) 保育所

	名 称	所在地	種別
1	篠井保育園	下小池町 464-20	私立保育所

※参考資料 「平成 29 年度 教育・保育施設入所のご案内」  
(平成 29 年 4 月作成) 宇都宮市公式ウェブサイトより

### (4) 子どもの家

	小学校名	愛 称	施設の場所
1	篠井小	アップルハウス	小学校南 (独立棟)

※参考資料 『事務概要 平成 29 年度』  
宇都宮市教育委員会生涯学習課 2017 年

## (5) 金融機関等

### ア 郵便局

	名 称	所在地
1	篠井郵便局	篠井町 864-1

### イ JAバンク

	名 称	所在地
1	JA うつのみや篠井ATM	宇都宮市下小池町 569-104

※参考資料 各ホームページ「日本全国銀行・ATMマップ」・各銀行等・  
日本郵政

## (6) その他の施設

### ・ 栃木県林業センター 所在地 下小池町 280

昭和 38 年に設立された森林・林業・木材業に関する試験研究機関。

※参考資料 PDF データ『栃木県林業センターの概要 平成 29 年度版』

### ・ 下野三楽園 所在地 下小池町 194

大正元年 (1912) 日光山輪王寺により創設された児童養護施設

昭和 46 年（1971） 建物老朽化により宇都宮市桜 4 丁目より現在地に新築  
移転

※参考資料 『篠井ガイドブック ふるさとの歴史と風土』

篠井ガイドブック編さん委員会 2002 年

## 5 民俗

### (1) まつり・行事

行事名（場所）	実施時期・特徴
とり焼き	1 月 14 日。ドンド焼き・ドンドン焼きともいう
石那田八坂神社天王祭	7 月 17 日～7 月 24 日。疫病を司る牛頭天王を鎮める祭り。岡坪地区にある八坂神社から坊村の御仮屋に御神体を遷して行われる。24 日には 6 台の彫刻屋台が練り歩く
飯山の獅子舞	8 月 15 日。天下一関白流と称する。五穀豊穡・悪霊退散などを願い阿蘇神社に獅子舞が奉納される
天祭（下小池町）	8 月盆。天念仏ともいう。高お神社（琴平神社）境内に天棚（彫刻が施された櫓）を設置。五穀豊穡・風雨順調を祈る。天棚は、下篠井にも残っている。
風祭	9 月。稲の収穫を前にした「二百十日」前後は台風季節で、この被害を防ぐための祭り
十五夜・十三夜	9 月 15 日と 10 月 13 日に月見を行う。夕食の後、子供達がワラでつくったボウジボをもって各家を回る
高お神社（石那田町）	例祭。1 月 7 日・9 月 19 日
高お神社（篠井町）	例祭。11 月 15 日、下篠井の人々によって行われる

※参考資料

『宇都宮の祭りと芸能』宇都宮市教育委員会 1984 年

『篠井ガイドブック ふるさとの歴史と風土』

篠井ガイドブック編さん委員会 2002 年

『宇都宮の神社』作新学院高等学校社会研究部 2008 年

## (2) 民話

「篠井の池」

『親と子で語るうつのみやの民話』かまどの会／編著 随想舎 p128～129

「茅勘助の碑」

『宇都宮の民話』文化財シリーズ 第6号

宇都宮市教育委員会社会教育課／編 p25

「雨乞い山」「飯山の獅子舞」「うらない仏」「茅勘助の碑」「道鏡の降雨祈願」

「八坂神社のわき水」「名馬『小池』」「石那田の茄子盛」「篠井の地名」

『篠井ガイドブック ふるさとの歴史と風土』

篠井ガイドブック編さん委員会／編 p263～268

「古山（小山）山の砦後」「北向き地藏」「桜の木」「寺屋敷あとと五十里洪水」

「堂室山と堂室石」「薬師堂」「五両ヶ岩」「腰掛け桜」

「羽黒山をおいていった男」「生子石」「キツネにばかされた話」

「おおかみへのお産見舞」「小林八景」

『篠井北部郷土誌』 篠井北部郷土誌編纂委員会／編 p408

## 6 文化財

名称（場所）	特徴
銅版阿弥陀曼荼羅 （東海寺 篠井町）	3段5列に配した諸仏(15仏)が肉彫風に鋳出されている。鎌倉時代前期作品で、制作時、由緒、寄進者などを記した銘文があり、当時の信仰を知るうえで歴史的価値がある。市指定文化財
木造虚空蔵菩薩立像 （東海寺 篠井町）	虚空蔵とは、広大無辺の功德が虚空（大空）のように大きいという意味である。制作年代は室町時代と思われる。60年に一度開帳される秘仏である。市指定文化財
篠井神祠（個人宅）	1667（寛文7）年に奉納されたもので、扉には、日光山への寄進場所と品目が刻み込まれていて、日光信仰の講（集団参詣の組織）が寄進したものと思われる。市指定文化財
篠井の金堀唄	江戸時代の寛文年間（1661～1673）、水戸の佐竹氏

	は篠井金山を開発していた。その抗夫たちによって歌われたのが始まりといわれている。素朴な感情を表現した労働歌であり、時代を経るごとに歌詞・節ともに変化して、今日に伝わっている。市指定文化財
飯山の獅子舞	天下一関白流と称する獅子舞で、毎年8月15日に飯山の阿蘇神社に奉納される。太夫獅子・雄獅子・雌獅子の3匹で舞う一人立三匹である。901(延喜元)年、高座山にこもって領民を苦しめた山賊蔵宗・蔵保兄弟を、関白鎮守将軍藤原利仁が追討したという伝承にちなんだ獅子舞である。市指定文化財
石那田八坂神社天王祭 付祭屋台	天王祭は、病気除けとして行われる牛頭天王の祭である。石那田八坂神社では、数年に一度、7月17日から24日まで行われる。付祭は24日の夜に行われ、猿田彦を先頭に、神輿と6地区(桑原・六本木・原坪・岡坪・仲根・坊村)の彫刻屋台が繰り出す。屋台は、江戸時代の終わりから明治時代にかけて作られたものである。市指定文化財
石那田八坂神社天王祭 猿田彦面装束等一式	石那田八坂神社天王祭のときに、仲根地区の住民が扮する猿田彦の装束である。猿田彦が、神輿と6地区の彫刻屋台の行列を先導する。市指定文化財
コウヤマキ(篠井町)	コウヤマキは、我が国特産の常緑針葉高木で、特に和歌山県の高野山に多いのでこの名前がある。材質は水に強く、風呂桶、橋、流し板などの資材や、庭園や寺院などの庭木用として用いられている。このコウヤマキは、植栽されたもので、樹齢約300年、樹高約30mと市内では稀に見る巨木である。市指定文化財
エドヒガン(石那田町)	エドヒガンは、「江戸の彼岸桜」という意味である。ときに高さ20mを超える大木になるものがあり、この木は樹齢約550年、樹高約19mと、宇都宮随一の巨木である。3月末には淡い紅色の美しい花をつける。市指定文化財
下篠井のイヌシデ (篠井町)	イヌシデはカバノキ科の落葉広葉樹で、関東地方では雑木林を構成する木々の1つである。普通は高さ12~15m、直径0.5mほどであるが、下篠井のイヌ

	シデは、樹高約 15.5m，周囲約 2.66m もあり，このような大木は珍しい。市指定文化財
石那田のウメ (石那田町)	白梅の大木で，1949（昭和 24）年のキティ台風で北側にやや傾き，その状態のまま現在にいたっている。地上約 80 c m のところで 5 本の大枝となって分かれ，主幹は割れているものの，樹勢は良好である。樹齢は約 250 年，樹高は約 6m，胸高周囲は約 3.4m で，極めて稀な巨木である。市指定文化財
篠井金山跡	榛名山の西側中腹斜面に位置する。戦国時代から江戸時代にかけて盛んに金の採掘が行われた。明治時代からは銅山として開発が行われたが，第二次世界大戦後，廃坑になった。
石那田遺跡 石那田城跡	昭和 50 年に発掘町田が行われ，縄文時代前期の住居跡と中世末期の館跡が確認された。館は天正期（1573～1592）の宇都宮氏の家臣小池内蔵助のものといわれている。
六本木一里塚 (石那田町)	日光街道に設置された一里塚。一里塚とは，江戸時代に街道沿いに設けられた里程を示すもの。江戸日本橋を基点として約 4 キロごとに設置された。
古河遺跡（篠井町）	縄文時代中期の大規模集落跡。昭和 42 年に開田工事の際，大量の遺物と袋状土壙が発見された。

※参考資料

「宇都宮の歴史と文化財ホームページ」宇都宮市教育委員会文化課  
『宇都宮の遺跡』宇都宮市教育委員会／編 1983 年

## 7 産業

篠井地区は宇都宮丘陵の北部に位置し平地が少なく沃土に乏しいが、山林が豊富で土質も樹木の育成に適しているため、明治から戦前までは、林業が盛んであった。

篠井金山の開発は、戦国時代から江戸時代初期にかけて、水戸の佐竹氏が金山奉行を派遣して採掘したのが初伝である。幕末から明治にかけて採掘事業が振興され、1894（明治 27）年には三井物産株式会社が採掘を行なったが、軌道には乗らなかった。明治末から大正中期にかけて個人で採掘事業を営む者もい

た。

篠井地区でりんご栽培が始まったのは、1944（昭和 19）年である。福島県相馬市からりんご苗を持ち込み植樹したところ成功し、栃木県内でもりんご栽培の先駆である。

椎茸の栽培も篠井地区の特徴で、1959（昭和 34）年に椎茸生産部会が結成され、本格的な市場向けの栽培が行なわれた。1963（昭和 38）年、下小池に県林業センターがオープンしたことにより、急速に市場向けの栽培が広まった。

#### ※参考資料

『篠井ガイドブック ふるさとの歴史と風土』

篠井ガイドブック編さん委員会 2002年

『宇都宮市史 別巻』宇都宮市史編さん委員会 1981年

## 8 交通

### (1) 道路名称・愛称

- ・日光街道[国道 119 号線] 松原 3 丁目～日光市境（上小池町）
- ・船生街道 日光街道（石那田町）～日光市境（篠井町）
- ・大網道 国道 293 号（徳次郎町）～船生街道（篠井町）
- ・小来川文挟石那田線[県道 149 号線]
- ・日光宇都宮道路[有料道路]

※参考資料 「うつのみや道路愛称マップ」宇都宮市道路管理課 2016年  
『栃木県道路地図』昭文社 2017年

### (2) 路線バス（関東バス）

バス番号	起終点	経過地	起終点	宇都宮駅バス乗場
50	宇都宮駅	桜通り・徳次郎	石那田 (篠井ニュータウン)	8
51	宇都宮駅	桜通り・徳次郎・石那田・大沢	今市車庫	8
52	宇都宮駅	桜通り・徳次郎・大沢・今市・野口	日光東照宮	8
53	宇都宮駅	桜通り・石那田・上篠井・塩野室・佐貫	船生	8

※参考資料 「宇都宮市バス路線マップ」宇都宮市ホームページ

### (3) 地域交通

篠井はるな号は、地域住民で組織された「篠井地域内交通運営協議会」が運営する地域内交通。平成 23 年 11 月 4 日試験運行を開始し、運行ダイヤや目的施設の追加などを行い、平成 24 年 11 月 1 日に本格的に運行開始。

・運行形態：デマンド方式

利用者が事前に予約し、自宅と目的施設をドアツードアで結ぶ

・運行ダイヤ

午前 8 時～午後 6 時までの 1 時間間隔で運行

運休日：日曜・祝日・お盆(8 月 13 日 - 8 月 15 日)・年末年始(12 月 31 日 - 1 月 3 日)

・運賃

1 回 300 円 (小学生 150 円)

未就学児無料 (保護者同伴に限る)

・目的施設

篠井地区全域・富屋地区・日光市大沢地区の一部にある施設

※参考 「宇都宮市ホームページ」

【参考】 宇都宮市全体から見た篠井地区の状況

(1) 篠井地区のデータ

・面積 (宇都宮市統計データバンクデータ)

・人口世帯数 (平成 28 年住民基本台帳データ)

項目	宇都宮市	篠井地区	篠井地区の順位 (全 39 地区)
・人口	521,906	2,491	39
・世帯数	229,011	960	39
・面積 (k m <sup>2</sup> )	416.85	26,628	5
・人口密度 (1k m <sup>2</sup> あたり)	1,250	94	39
・年少人口構成率	13.85	10.32	36
・生産年齢構成率	62.61	57.01	37
・高齢者人口構成率	23.53	32.68	1
・人口増加数	15,118	-192	25
・人口増加率(%)	2.98	-7.17	34
・世帯増加数	19,117	44	30
・世帯増加率(%)	9.11	4.86	23

※平成 22 年住民基本台帳データとの比較

・人口動態調査（平成 28 年）

項目	宇都宮市	篠井地区	篠井地区の順位 (全 16 地区)
・出生数	4,653	5	16
・死亡数	4,733	28	16
・自然増人数	-80	-23	9
・転入者数	32,612	57	16
・転出者数	32,084	75	16
・社会増数	528	-18	10
・人口増加数	448	-41	10

(2) 世帯・家族

地区	核家族世帯数	単独世帯数	高齢夫婦世帯数	高齢単身世帯数
宇都宮市全体	123,068	73,337	17,946	19,032
篠井地区	433	115	90	69

・核家族化

順位	1 位	2 位	3 位	11 位
地区名	河内	瑞穂野	雀宮	篠井
核家族率	66.0%	65.5%	63.0%	57.0%

(3) 高齢者

・高齢化率（総人口に占める 65 歳以上の割合）(政策審議室データ)

宇都宮市全体	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年	平成 47 年
高齢者人口	122,798	135,531	141,724	146,302	
篠井地区の 高齢者人口比	32.7%				
宇都宮市の 高齢者人口比	23.5 %	26.2%	27.6%	29.0%	



・高齢者の世帯

65歳以上の単独世帯		
順位	地区	割合 (%)
1	富屋	15.67
2	陽南	12.97
3	瑞穂野	11.14
4	本庁	10.21
5	宝木	9.53
8	篠井	9.09

65歳以上の夫婦世帯		
順位	地区	割合 (%)
1	篠井	11.86
2	陽南	10.72
3	雀宮	10.49
4	河内	10.23
5	姿川	9.55

(4) 住宅環境

・持ち家 (H27 国勢調査)

持ち家率 順位	地区名	持ち家世帯数	持家率
1	篠井	745	98.2
2	上河内	2,806	86.9
3	河内	10,003	78.9
備考			
	宇都宮市全体	129,072	59.4

・借家 (H27 国勢調査)

順位	地区名	借家戸数	借家の 占める割合
1	横川	8,540	53.9
2	本庁	31,043	49.4
3	平石	6,224	46.4
16	篠井	10	1.3
	宇都宮市全体	85,641	39.4

(5) 産業

農業 平成 27 年（世界農林業センサス，農業センサス，農業センサス）政策審議室

項目 地区	戸数 (戸)	人口 (人)	経営耕地 (a)			
			田	畑	樹園地	計
篠井地区	196	968	33,879	2,369	588	36,836
宇都宮市	5,218	15,235	866,155	90,395	33,354	989,904

商業（H26 商業統計調査）政策審議室

項目 地区	事業所数 (卸売業・小売業)	従業員数	販売額 (百万円)	売り場面積 (㎡)
篠井地区	9	16	95	331
宇都宮市	4,446	40,135	2,040,219	740,061

事業所（H26 経済センサス－基礎調査）

・地区別産業大分類別事業所数及び従業員数（民営）

項目 地区	事業所数	従業員数
篠井地区	64	431
宇都宮市	22,768	250,081

工業（H26 工業統計調査）

・地区，工業団地別事業所数，従業員数，製造出荷額等

	事業所数	従業員数 (人)	製造品出荷額等	付加価値額	資産投資額
篠井地区	10	137	3,293	1,957	3
宇都宮市	529	30,379	1,981,059	535,544	47,425

平成 26 年 12 月 31 日現在（単位：百万円）